

<別紙>

## 「N E C グループ環境経営行動計画 2017/2030」目標

N E C グループは、「N E C グループビジョン2017」で目指す「人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現するグローバルリーディングカンパニー」の実現を環境面から具現化するため、「N E C グループ環境経営行動計画 2017/2030」を2010年6月に策定しました。概要は次のとおりです。

### ■ 「N E C グループ環境経営行動計画 2017/2030」

中期目標設定を「N E C グループビジョン 2017」と同じ 2017 年度、長期目標設定を 2030 年度とし、以下の 4 点について目標を設定。

- ①低炭素：社会全体の CO<sub>2</sub>削減に IT ソリューションで貢献
- ②低炭素：製品のエネルギー効率の改善
- ③生態系・生物多様性保全に向けた活動の強化
- ④資源循環、省資源の推進

#### (1) 低炭素：社会全体の CO<sub>2</sub>削減に IT ソリューションで貢献

自らの生産やオフィスにおける CO<sub>2</sub>排出の抑制に努めると同時に、IT ソリューションの提供を通じて社会全体の CO<sub>2</sub>排出抑制に貢献する。

- 2017 年度 累計 1500 万トンの CO<sub>2</sub>削減効果を実現
- 2030 年度 累計 5000 万トンの CO<sub>2</sub>削減効果を実現

#### (2) 低炭素：製品のエネルギー効率の改善

製品のエネルギー効率を更に高め、お客様の使用段階での CO<sub>2</sub>発生を抑制。

- 2017 年度
  - ・ 全製品加重平均で△80%の改善を実現（注 1）
  - ・ 全製品群個々について△70%の改善を実現（2005 年度製品比）
- 2030 年度
  - ・ 全製品加重平均で△90%の改善を実現

- ・ 全製品群個々について△80%の改善を実現（2005年度製品比）

### （3）生態系・生物多様性保全に向けた活動の強化

「NECグループ生物多様性行動指針」に基づき、地球観測衛星による宇宙からの観測技術、無線センサー端末による自然生態系モニタリングなど、生態系・生物多様性保全に貢献する観測技術、ソリューションを提供すると共に、「植林」や「NEC田んぼづくりプロジェクト」、「MDD運動（注2）」など、NECの先進的取り組みを更に強化する。

- 2017年度 生態系・生物多様性保全に貢献する社会貢献活動への従業員の参加人数を2010年度比で倍増

### （4）資源循環、省資源の推進

NECの環境への貢献度の高い全てのプラスチック使用製品にバイオプラスチックを導入することにより、石油資源の枯渇問題への対応に貢献する。

- 2017年度 全ての主要製品へのバイオプラスチック適用（注3）

以上

（注1）製品性能を考慮した省エネ効果

（注2）MDD（NEC Make-a-Difference Drive）：全世界のNECグループ社員が参加するボランティア活動

（注3）屋外設置製品等、バイオプラスチックでは性能が維持できない製品については対象外